

平成22年第一回仙台市環境審議会 議事録

平成22年6月3日(木)

10:00~12:00

仙台市議会第一委員会室

I 次第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 議事等
 - (1) 会長、副会長の選出について
 - (2) 計画改定のスケジュールについて
 - (3) 仙台市環境基本計画改定に係る中間案(素案)について
 - (4) 仙台市地球温暖化推進計画の改定に係る専門部会の設置について
 - (5) その他(中間案への市民意見募集について)
5. 閉会

II 出席委員数

出席 21名

欠席 4名(金久保佐知子委員、鈴木陽一委員、花輪公雄委員、山本昭委員)

III 議事等

司会(企画調整係長)	議事等に入る。はじめに当審議会の会長・副会長を選出していただきたい。 会長・副会長については「仙台市環境審議会の組織及び運営に関する規則」第2条第1項の規定により、委員の互選により決定することとなっている。自薦・他薦を含め、ご提案はないか。
間庭委員	自薦ではないが、ご推薦申し上げたい。 市長のご挨拶にもあったように、現在、まさに環境基本計画の改定中であり、中間案がまとまる場所である。今回、年度の関係で委員の委嘱替えがあったが、まさに佳境でもあるので、ここまでご指導いただいた佐藤洋委員に引き続き会長を担っていただきたい。 まったく同様の視点で、特に中間案素案の起草委員会の座長としてリードしていただいた西村委員に、是非副会長として、そして起草委員会の座長として引き続きご指導をいただきたい。そして本日も欠席だが、鈴木陽一委員にも副会長にご留任いただき、10年に一度の環境基本計画の改定について最後まで仕上げてください。

	き、ご指導いただきたい。
司会(企画調整係長)	ただいま、間庭委員より会長は前期に引き続き、会長は佐藤洋委員に、また副会長は西村修委員と鈴木陽一委員に、というご提案をいただいたが、皆様いかがか。
委員	「異議なし」
司会(企画調整係長)	では、佐藤委員いかがか。
佐藤委員	皆様からのご推薦なのでお引き受けしたいと思う。
司会(企画調整係長)	それでは、佐藤洋委員にお願いしたい。どうぞよろしくお願いしたい。 では、西村委員はいかがか。
西村委員	恐縮ではあるが、力を尽くさせて頂きたい。
司会(企画調整係長)	ありがとうございます。鈴木陽一委員は、本日も都合により欠席だが、審議会の総意として副会長をお引き受けいただきたいということの後日事務局より、ご本人にお伝えしたいと思うがよろしいか。
委員	【拍手承認】
司会(企画調整係長)	では、佐藤委員は会長席に、西村委員は副会長席にお移り願いたい。 佐藤会長よりご挨拶いただきたい。
佐藤会長	ただいま会長にご推挙いただいた佐藤です。市長のご挨拶や間庭委員のお話にもあったように、まだ環境基本計画改定の途中であり、「宿題をしっかりとやりなさい」ということなんだろうなというふうに受け止めている。 西村委員、鈴木陽一委員とともに、前の体制をそのまま引き受けさせていただき、皆様のご協力を得ながら何とか宿題を完成させたい。環境問題は待ったなしであるし、二酸化炭素 25%削減を約束した総理はお辞めになってしまったわけだが、我々生活する者としては生活していかざるを得ない。これから先のことを考えると、スピード感を持ってやるべきことをきちんとやっていかなければならない。皆様にはどうぞよろしくご協力をお願いしたい。

司会(企画調整係長)	ありがとうございます。西村委員におかれてもどうぞよろしくご協力の程、お願いしたい。
	これからの議事進行に際しては、規則第5条第1項に基づき、佐藤会長にお願いしたい。
議長(佐藤会長)	それでは引き続き、議事等を進めていく。委員皆様のご協力をよろしくお願いしたい。
	進行に際して事務局より確認しておかなければならないことはないか。
事務局(企画調整係長)	はい、本審議会の運営に関して、皆様に確認していただきたい事項が2点ある。
	まず、1つ目は会議の公開に関して。会議は原則として公開とし、個人のプライバシーに関する事等で、必要な場合に限り非公開とすることでよろしいか確認願いたい。
	2つ目は会議の議事録について。これまでの環境審議会の議事録については、事務局が案を作成した後、まず発言者に内容の確認を行うこととした上で、会長と出席者お一人の確認署名をいただくということで正式な議事録としていたところである。今回からもその方式でよいか確認をお願いしたい。
	なお、会議を公開とした場合は、議事録も公開となる。
	以上、2点についてよろしく願いたい。
議長(佐藤会長)	それでは、ただいま事務局から話のあった一つ目「会議は原則として公開とし、個人のプライバシーに関する事等で、必要な場合に限り非公開とする」ことについて、この通りでよろしいか。
委員	「異議なし」
議長(佐藤会長)	それでは、2番目の議事録についても、これまでどおり「会長と出席委員1名の署名をもって、正式な議事録とする」としてよろしいか。
委員	「異議なし」
議長(佐藤会長)	それでは早速、本日の議事録についてご署名いただく委員だが、出席委員の五十音順で順番にお願いしたい。
委員	「異議なし」

議長（佐藤会長）	では、今回は伊藤委員にお願いしたいがよろしいか。
伊藤委員	（了承）
議長（佐藤会長）	それでは議事に入りたい。議事等の（２）「計画改定スケジュールについて」であるが、これは報告事項になるが、今後の進め方について本日は新しい委員の方々もいらっしゃるので、事務局から説明していただきたい。
事務局（環境企画課長）	（資料１に基づき、「計画の改定スケジュール」について説明）
議長（佐藤会長）	ただいま事務局から説明があったように、環境基本計画については現在、審議の最中であり、地球温暖化対策推進計画については環境基本計画の中間案を受けて審議を進めたいということだったが、皆様よりご質問やご意見はあるか。今年度いっぱいでは仕上げるにはこのようなスケジュールになるということでご理解いただきたい。
議長（佐藤会長）	<p>それでは、ご質問等なければ、「議事等」の（３）の「仙台市環境基本計画改定に係る中間案（素案）について」に入る。</p> <p>事務局から説明があったように、本日はこの審議会としての中間案を取りまとめることになっているが、昨年の諮問以来、中間案素案については起草委員の方々にいろいろ練っていただいた。私のほうからこの場をお借りして、ご熱心なご議論を頂き、立派な素案を作っていただいたことに心から感謝申し上げたい。</p> <p>その素案について、起草委員会議の座長をお務めいただいた西村副会長より、作業経過や素案の内容についてご報告いただきたい。西村委員、よろしく願います。</p>
西村委員	<p>起草委員を代表して説明させていただく。</p> <p>資料２をご覧いただきたい。起草委員会議の経過がまとめられている。</p> <p>審議会の付託を受けて、３ヶ月の間に４回開催という非常にタイトなスケジュールであったが、起草委員６名の方々と環境部の職員の方々にもご参加いただき、熱心なご議論をいただいた。初回には佐藤洋会長にもご参加いただき、ご指導いただいた。座長として私からも感謝申し上げます。</p>
西村委員	次に、資料３-１とパワーポイントに沿って説明させていただく。資料３-２は素案本編であるがこれについては時間の都合上、直接説明はできないので、資料３-

<p>議長（佐藤会長）</p>	<p>1のほうに対応する本編の該当ページを表示している。</p> <p>（資料3-1に基づき、仙台市環境基本計画改定に係る中間案（素案）について説明）</p> <p>ありがとうございました。沢山の内容を手際よく説明していただいた。本日は都市像について検討をしなければならないが、こちらについては議論の順番を後回しにして都市像以外での議論を先にしたい。</p> <p>ご発言される場合は、記録を取る都合上、マイクを持ちお名前をおっしゃってからお願いしたい。また、資料に触れる際には、パワーポイントの資料についてであれば「資料」と言ってお知らせいただきたい。素案そのものに触れる際には、「素案」と言ってお知らせいただきたい。</p> <p>それでは、都市像以外の部分についてはいかがか。</p>
<p>田口委員</p>	<p>この環境基本計画は仙台市の意図表明を公にするという位置づけだと思う。市民の方々も全国の方々も関心を持ってご覧になるので、そういう視点で捉えると、どなたでもわかりやすい、メリハリをつけた表現でまとめられたらいいと思う。</p> <p>そういう視点から確認させていただきたいが、「資料」24ページのCO₂削減目標の基準年について、1990年比でなくて、仙台市では2005年比になっている。いろいろご議論があったようだが、我々はマスコミ等で承知しているのが1990年比なので2005年比の数字を使われるとわかりにくい。</p> <p>ご説明を受ければ納得はできるだろうが、これは2005年比で進めるということでもいいのか。</p>
<p>事務局（環境企画課長）</p>	<p>西村委員からもご説明あったが、付け加えさせていただくと、2005年比を採用したのは、いくつか理由がある。まず、1990年当時のデータについて、国レベルでははっきりしたものが出せるが、自治体レベルだと推定の数値になってしまう。正確な比較ができない。</p> <p>また、一般の方々にとっても、1990年と比較するより、今と10年～15年後を比較したほうがよりわかりやすい。そういう意味からも、直近の2005年を採用した。</p> <p>また、国全体では1990年から2005年の間にCO₂排出量は伸びているが、一人あたりで見ると、10パーセントの伸びで国全体と仙台市ではほぼ同等だが、排出量全体で見ると、この間の仙台市の人口増や経済成長もあり、23%増と国と比べると仙台市の伸びは相当大きい。1990年比で見ると、仙台市ではかなり減らさなければいけないということになる。実際問題として、国全体の施策、市の施策、市民の</p>

田口委員	<p>負担を考えた場合に、公平性という観点も考慮して 2005 年を基準年にしたほうがわかりやすいし、より実際的であるということでのこのようにした。ただ、1990 年比の場合はどうなるか、という質問は当然出てくると思うので、その部分は説明できるように提示するようにしたい。</p> <p>国との整合をとったほうがいいのではないかと思ったが、(今事務局からご説明あったように) 指標のデータの特徴も踏まえて、総合的に、ということであればわかるし、市民の方々からの質問への明快に答えられるようご準備ができていればいいのではないかと思う。</p>
工藤委員	<p>基準を 1990 年比にするか、2005 年比にするかというのは、起草委員会議でもめめたところである。事務局の説明を聞くと、1990 年当時の仙台市やほかの自治体ではデータが取られていないとのことだが、それは当然のことであって、客観的にみるとそれは言い訳に聞こえる。実態はそうではないが。</p> <p>数字が一人歩きする怖さを行政もマスコミも注視すべき。</p> <p>基準がこっちかあっちか、数字だけが一人歩き。客観的にはわかりにくい。</p> <p>なぜ 1990 年なのかというのは、京都議定書であれだけ大きな目標を日本が世界に宣言した原点だからである。日本としてはもっと誇りにすべき基準だと思う。</p>
議長 (佐藤会長)	<p>データの正確性と誤解のないように、というのが重要だと思う。</p>
小林香委員	<p>重要なポイントが沢山あると思うが、まず、ごみの分別について成果は上がっているということだが、30 ページのバイオマス資源の有効利用に関して申し上げたい。千葉市で生ゴミをバイオマス処理化して、ガスを発生させて事業で使う取組をしている。ごみ焼却量もかなり減ったが、焼却場を 3 体制から 2 体制に減らすということで、参考になるのではないか。仙台市でも検討されてはいいか。</p> <p>それから、剪定枝の利用について。仙台には、杜の都であるという特徴があるので是非このような取組もされてはどうか。青森県の鱒ヶ沢町では、りんご剪定枝が大量に出る。事業所がそれを買って、まきストーブの燃料にしたり、チップ化してボイラーに使ったり、肥料化したりしているので、仙台市でも参考にしてもいいか。</p> <p>34 ページの「生物多様性地域戦略(仮称)策定」についてであるが、環境省でも今年度自治体に委託という形で策定していただくスキームがある。5月28日が締め切りだったが、二次募集の可能性もある。是非とも検討していただきたい。</p> <p>素案の 35 ページの建築物の木造化・木質化については、仙台市は山から海のほうへ広がっており、森林資源の活用が重要だと思う。全国的には県産材の使用につ</p>

<p>議長（佐藤会長）</p>	<p>いて補助金を出すなどの取組がある。山形県の金山杉の普及のような取組もある。</p> <p>37 ページの水辺環境の整備については、生物多様性の観点からも非常に重要だと思う。昨日、福島市にて、福島市長、東北地方整備局長と一緒にシンポジウムを開催した。その席上、東北地方整備局長が生態系に配慮した河川整備が必要だとおっしゃっていた。環境省としても、多自然型の河川整備を進めていただきたい。これは市民の方々に水環境への理解を深めていただくうえでも重要である。農業用水路についても同じことが言える。かつては、田んぼや水路に様々な生物がいたが、コンクリート製の水路が張り巡らされたことで生態系が損なわれた。</p>
<p>事務局（環境企画課長）</p>	<p>最初の2つはご質問で、あとは情報提供をいただいたということで。</p> <p>ただいまのご指摘については、今後プランを具体的に展開するにあたり、個別計画の話もあるし、具体的の施策を構築する上でしっかり考えていきたい。</p>
<p>吉岡委員</p>	<p>資料 32 ページの第 2 項の「方向性」において、「法令等を通じた保全」という書き方がされているが、環境というものに対して全部法令で縛れるのかどうかは非常に難しい部分がある。確かに法令をきちんとした結果、環境保全に貢献したという例は、いわゆる 1970 年の公害国会というような実績はあるが、逆に法令にのっとって環境保全をどうするかでなく、環境保全のためにどういう法整備が必要なのかというスタンスが少し必要だと思う。法令を通じたというよりもむしろ環境を通じた法令整備の検討のようなことを起草委員会なりでご議論いただけないかと思う。</p> <p>それから、建築物の木質化・木質燃料の利用の促進ということが書かれているが、例えば木材チップ、木質燃料などどんどん使えばいいかということ、これはどこかで制限を設けないといけない。やはり、木が育つ速度と使う速度のバランスを考えなければならぬ部分があると思う。これだと使う速度を推進するばかりで、育てる速度のほうはちょっと読みにくいところがある。この木が育つ速度と使う速度のバランスを明確にするよう書き込むことを検討されてはいかがか。</p>
<p>議長（佐藤会長）</p> <p>工藤委員</p>	<p>コンセプトはいいが、表現とかそういった問題なのかと思うが。</p> <p>今、吉岡先生から重要なことをご指摘いただいた。</p> <p>法令、いままでの環境というと、規制されるというマイナスイメージがある。しかし、そうではないはず。</p> <p>木質化も、日本の山は人手がかかってなくて荒れている。そこの枝払いとかに手をかけたものを再利用するというようなことを、だいたい常識的としては、葛巻町</p>

事務局(環境企画課長)	<p>とかいろいろな所でやっているの、そういう概念がわかるようなコメントがある と思う。</p> <p>法令等の関係だが、基本的には自然環境保全のためのゾーニング制度を念頭に記述しており、ご指摘いただいたような環境保全全般にかかるような制度・しくみづくりについては、施策体系の5番目の柱のところ、そういう考え方を大切にしながら様々な具体策を検討していきたい。</p> <p>木質燃料の話については、概要説明資料の中で要約してしまい、確かにご指摘のとおりでなるほどと思った。これについては本編 35 ページの2 (1) のイの要約だったが、森林機能を維持できる範囲で持続可能な利用が大切なので、外にお示しするときには誤解のないようにしたい。</p>
議長 (佐藤会長)	<p>いずれにしても、表現の仕方が非常に大切だと思う。まだ、ご意見があると思うが、結論の出ていなかった都市像のキャッチコピーについてのご意見をいただきたい。</p> <p>パワポ 15 ページに4つの候補があるが、この中からできれば一つに絞りこみたいと思うがいかが。起草委員会でも相当議論していただいたと思う。</p> <p>仙台といえば、杜の都仙台というのが全国的に通じるような表現だが、それに次ぐような都市像のキャッチコピーを。</p>
工藤委員	<p>起草委員会でだいぶいろんな案が出て、決めかねて今日ここへ絞られて4つになった。</p> <p>杜の都仙台というのは客観的にも全国的に知られている。では杜はどうやってできてきたのか。そういうことを背景にすると、おひさま、太陽の恵みがあって杜が成長し、我々はその中で活動してきた。そこがキーワードということは起草委員会の共通認識だった。「わ」について、絆の「輪」とかとそういう意味から出てきた。そこを入れるか入れないかというあたりで、考えて決めていただければ。</p>
田口委員	<p>さきほどの西村委員のご説明にもあったように、現在のプランの基本理念等が息づいているというお話もあったが、現行の「杜に学び、杜といきる都」というキャッチフレーズは素晴らしいと思っている。それが息づいた中で、新たなコンセプトも目指してしていくということであれば、2番目の『杜』と生き、『人』が活きる都・仙台がいいのでは。これの細かいところは今回の素案の中でも、「杜と人の共生」とかいろいろな言葉が出てきた。これまでの理念を引き継ぎつつも、ということであれば、これまでのキャッチフレーズから連想させるリズムカルというか、理屈にはならないかもしれないが、そういったものもあるので、2番がいいのでは</p>

	<p>ないかと思う。</p> <p>それに関連して、「自然共生都市づくり」の目標の「緑被率」に関して、緑被率の「向上」から「維持」というふうに、前にいただいた素案と今回の素案で表現が変わっている。仙台が素晴らしい杜と水の都を自負するのであれば、「向上」のほうがキャッチフレーズにふさわしいのではないかと、思うが。</p>
議長（佐藤会長）	<p>今、2番目が、計画の理念を継続するという意味ではふさわしいということだったが、素案の中身の緑被率の向上と維持についての表現について事務局から説明してもらえないか。</p>
事務局（環境企画課長）	<p>西村委員から話があったように、緑被率については、杜の都の環境をつくる審議会で審議しているところで、当然、緑被率を向上できればいいが、1%向上させるのにかかなり苦勞するところ。そのへんが見えてないというところで、向上とまで出せない。</p> <p>最低限維持はしたいということで、最低ラインの維持というところにした。その点につきご理解いただきたい。</p>
議長（佐藤会長）	<p>なんか役所の縦割りの話が出てきたような気がしますが。</p>
田口委員	<p>工藤さんからご指摘あったように、数字にこだわらないということであれば、1%達成できるかわからないが、目標ということであれば、「維持」というのはヘジタイトというか、ためらいを想起させるので、「向上」がいいのではないかと。</p>
議長（佐藤会長）	<p>例えば、「維持し、向上を目指す」ということではいかがか。</p>
小林環境局次長	<p>ただいまのご意見については大変積極的ですし、市民の方々もそのような思いだと思います。ただ、事務局から説明のあったとおり、別の審議会でご議論いただいているところなので、当然、環境審議会でこのようなご意見が出たということを杜の都の環境をつくる審議会事務局にお伝えし、審議会で生かして頂くようにできればと思う。どういうふうになるかお約束はできないが、環境審議会でこのような意見が出たのでご配慮いただくということではいかがか。</p>
議長（佐藤会長）	<p>役所の仕組みというか、縦割りはなかなか打破できないが、この審議会では「向上」ということで出させていただきたい。</p> <p>都市像は2番ということが出てきたが、いかがか。</p>

工藤委員	起草委員会でも話があったが、今日はここで一つに絞らないといけない。投票して決める、ということでは荒っぽいかな。やり方の提案だが。
議長（佐藤会長）	都市像についてはパブコメでも聞くということではできるのか。
事務局（環境企画課長）	パブコメをする際には、基本的には一つの都市像を提示して、それを展開してこのプランの中身がある、という説明をしていきたいと考えている。もし、今日決められないのであれば、あと2週間くらいは手続き上時間はあるので、考えることはできるが、基本的には本日決めていただけるとありがたい。
山本玲子委員	<p>フォローとして、私も2番がいいと思う。</p> <p>4番目だと、「わ」の意味が必ずしも、すぐにはピンとこない。意味をかけるという点ではいいかもしれないが。1番目は精神、というか意味合いは大変よくわかるが、少し長すぎる。「太陽の恵み」というと、ちょっと仙台はそこまで至っていないと思うので。</p> <p>そういう意味でこれまでの計画を継承し、さらに発展させるという意味合いで、主のキャッチフレーズが2番目、それに説明的なものをサブで入れるということでは、よろしいのでは。</p>
議長（佐藤会長）	2番目を支持する意見が出ましたが。
杉山委員	総合計画の起草委員会の議事録を見たが、その中でも「行動する市民力」という言葉を目にした。市民が力を合わせて、まちを作っていくということ。杜の中で、人が杜を生かしながら、自分も杜に生かされている。それが大切で、「」書きの杜と人が入るのはわかりやすいし、そこがすごく気に入っている。
樋口委員	私は総合計画の審議をやっているが、「市民力」というのは総合計画で2時間近く議論した。環境市民という特別の市民がいるという表現はどうかかな、と思う。市民力を生かす、という表現を強くしたほうがいいと思う。総合計画全体に関係すると思うので、市民の力を生かすという表現が強い2番か3番がいいのではないかな。
議長（佐藤会長）	だいたいご意見が2番のほうへ集約されてきたように思うが。皆さん、2番目でよろしいか。
委員	「異議なし」

議長（佐藤会長）	では、都市像としては2番目の『杜』と生き、『人』が活きる都・仙合一杜の恵みを未来につなぎ、『環（わ）』『輪（わ）』『和（わ）』の暮らしを楽しむまちへ」でさせていただきたい。
議長（佐藤会長）	事務局から都市像に関して他に何かあるか。
事務局（環境企画課長）	お時間がないところ恐縮だが、全体都市像の下に4つ都市像があるが、庁内の意見として、「高環境質都市」という表現について、ややわかりにくいという指摘があった。もし少し良い表現があれば、出させていただきたい。
議長（佐藤会長）	なんとなく少しわかりにくいかと思うが。皆様からいい知恵を拝借できれば。なかなかすぐには出てこないと思うが。
山本玲子委員	漢字で統一されているので、なかなか難しいと思うが、快適環境都市というのではいかがか。質が高いか低いかこれだけではわからないが。
議長（佐藤会長）	<p>ただ今、「快適環境都市」というご意見が出たが。他にはどうか。ひとつの案ではあると思う。</p> <p>これについては、ここだけで決めるというのも難しいと思うので、事務局と相談させてほしい。</p> <p>快適環境都市もなかなかいいと思うが、相談させていただいてよいか。2週間くらい余裕があるので、その間で詰めたいと思う。</p> <p>中間案について、時間が足りなかったかと思うがご議論をいただいた。この審議会としては、表現の問題について、いつくかご意見をいただいたが、概ね素案どおりで了解いただいたということでいいか。細かい修正については事務局に一任するということをお願いしたい。都市像は2番目。「高環境質都市」についても、「快適環境都市」というのが出てきたが、それも含めて検討させていただきたい。</p>
議長（佐藤会長）	では、次に議事4「仙台市地球温暖化対策推進計画の改定に係る専門部会の設置について」に入る。事務局より説明をお願いしたい。
事務局（環境企画課長）	(資料4および資料4別紙に基づき、専門部会の設置と臨時委員の選任について説明)
議長（佐藤会長）	ただいま、事務局より説明があったように、地球温暖化推進計画については高い専門性をもっての詳細な検討が求められるということもあるので、このような部会


	を設け、そこでの検討を経た上で、本審議会での審議会を行うのがよろしいのではないかと思うがいかがか。
委員	「異議なし」
議長（佐藤会長）	部会員や部会長については「仙台市環境審議会の組織及び運営に関する規則」の第7条により、会長が指名することになっているので、私としては、ここに挙げられている方々と部会長については鈴木陽一委員にお願いしたいと思うがよろしいか。
委員	「異議なし」
事務局（環境企画課長）	臨時委員については、「仙台市環境審議会の組織及び運営に関する規則」の第3条により委嘱の手続きが必要なので、後日事務局にて委嘱の手続きを取り、第1回目の専門部会の際に委嘱状を交付したいと思う。
議長（佐藤会長）	次に議事（5）の「その他」に入るが、事務局から何かあるか。
事務局（環境企画課長）	（資料5に基づき、環境基本計画中間案への市民意見等募集について説明）
議長（佐藤会長）	<p>パブコメだけでなく、イベントや説明会など、いろいろな催しも行いたいということである。</p> <p>さきほど、今後のスケジュールの中で次回の審議会は10月を予定しているということだったが、パブコメについては、場合によっては中間案の修正が必要になる可能性がある。10月の審議会の前にパブコメについて委員の皆様とやり取りする機会があったほうがいいのかと思う。</p> <p>と、申し上げるのは、前回の計画策定のときに、私も起草委員にメンバーに入っていたが、たくさんのご意見が寄せられ、その意見について当時起草委員会などでも検討したと記憶している。したがって、今回もたくさん集まれば、起草委員の方々を中心にそのへんのご相談をさせて頂いてはどうか。寄せられた意見にもよると思うがいかがか。</p>
事務局（環境企画課長）	事務局としても是非そのようにお願いしたい。

議長（佐藤会長）	<p>起草委員の方々を中心に皆様でということになるが、起草委員の方々には特に、お忙しい中恐縮だが今後ともよろしく願いたい。</p> <p>他に何かご意見等はあるか。</p>
山本玲子委員	<p>素案本編のほうも、パワーポイントの資料もそうだが、CO₂排出量について、1990年の値が推計値であるはずだがそのコメントがない。さきほどから議論に時間がかかったが、そのコメントを入れることで多少は解消できるのではないか。その点を工夫してほしい。</p> <p>それから、第5章「環境配慮のための指針」の「主体別」というところで、素案本編を読むと仙台市が市内最大の事業者ということが書いてあるが、概要を見ると「事業者に期待される役割」のところでそれが書かれていない。あとA3版の資料（中間案素案構成図）で、主体別というのが何を指しているのかわからない。素案の本文を見て初めてわかった。</p> <p>本質的ではないところだが、ご配慮いただきたい。</p>
議長（佐藤会長）	<p>本質的なところだと思うが。このへんはブラッシュアップしてほしい。ほかにご意見はあるか。</p>
事務局（環境企画課長）	<p>特になし。ご指摘の点は工夫していきたい。</p>
議長（佐藤会長）	<p>それではいろいろご議論いただいたが、これで閉会にさせていただきたい。もし何かあったら、事務局にお伝えいただきたい。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

この議事録について、会議の内容と相違がないことを認める。

平成22年 8月/8日

仙台市環境審議会署名委員

会長 佐藤 洋 

委員 伊藤 絢子 